

 リパブリック社製

エアーナイフシステム

取扱説明書

RB500 シリーズ



REPUBLIC
Blower Systems

日本総代理店：ディ・アイ・エンジニアリング株式会社

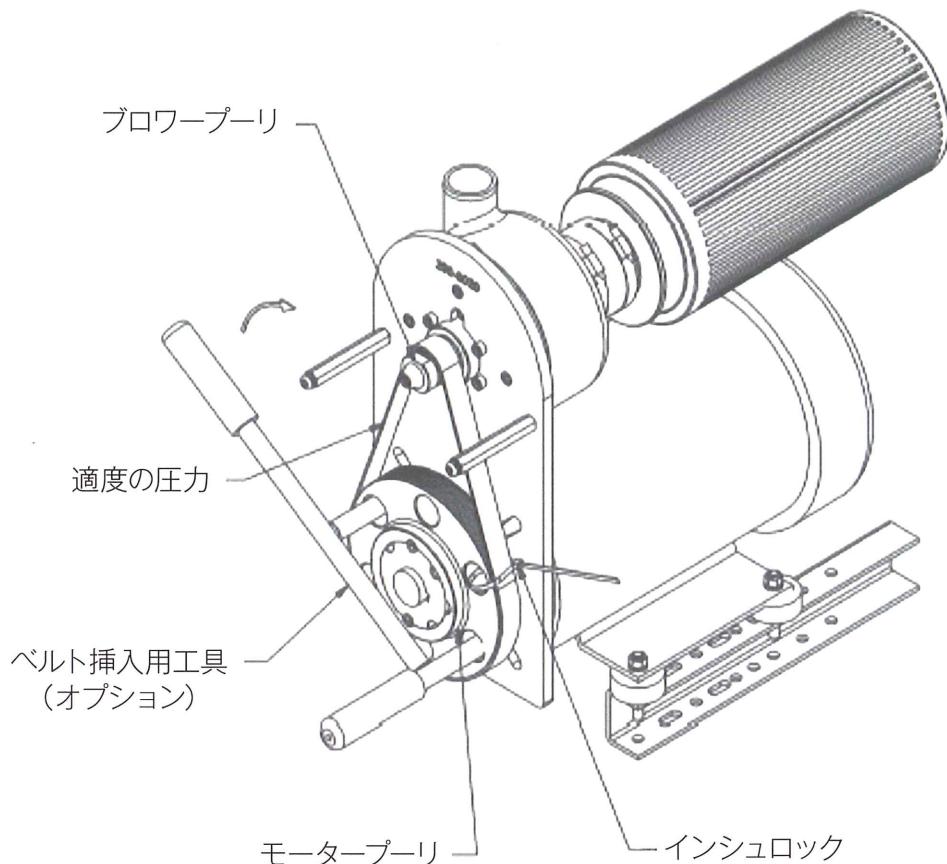


東京都墨田区錦糸 1-2-1 アルカセントラル 5階
TEL:03-3625-1501/FAX:03-3625-1770



安全の手引き

1. 常に、電気、機械の資格を有した人が、リパブリックプロア、ならびにモータの据付け、メンテナンスを執り行ってください。
2. システムに対して作業を行なう場合は、モータスター、ヒューズボックスまたは回路の電力を断ってください。プロアに対して作業を行なっている際は、電力がONにならないよう、特に注意してください。
所定のロックアウト／タグアウトシステムを使用してください。
3. モータの配線、マウンティングボルトが適正に設置され、スタートアップ前に安全ドアが閉じている事を確認してください。
4. リパブリックシステムのプロア、エアナイフノズルに対して作業を行なう場合、安全眼鏡、耳栓を着用してください。
5. ベルトガードを外した状態で、プロア／モータを運転させないでください。プロア／モータを運転させる前に、インレットフィルタと配管がプロアの吸引側に取付けられていることを確認してください。
6. 吐出口開放状態で、プロアを運転させないでください。モータの過負荷を避けるため、配管またはバタフライバルブを繋いでください。適正負荷のため、最終取り付け状態の確認を行なってください。
7. 運転中は、回転および動いている部品から工具、被服、手を離してください。安全カバーを取り外した状態で、プロアを運転することは決してしないでください。
8. 部品の損傷ならびに消耗に対し、一定期間ごとにプロアを点検してください。損傷部品はすみやかに取り除いてください。損傷したプロアを取付けたり、運転したりしないでください。
9. インレットエアフィルタを一定期間ごとに点検し、必要ならば、取り替えてください。汚れたエアフィルターを用いると、プロア能力低下の原因になります。
10. 正規のリパブリックプロア製純正部品のみを使用してください。



組立用工具を図のようにモーターピューリに挿入して下さい。

モーターピューリにベルトを付け、ブロワーピューリにベルトをスライドさせて下さい。

組立用工具を使用し、適當な力を加えてベルトを装着して下さい。

ベルトの溝とピューリの溝が揃っている事を確認して下さい。必要ならば、インシユロック等を使用して、モーターピューリとベルトを繋いで下さい。



REPUBLIC
Blower Systems

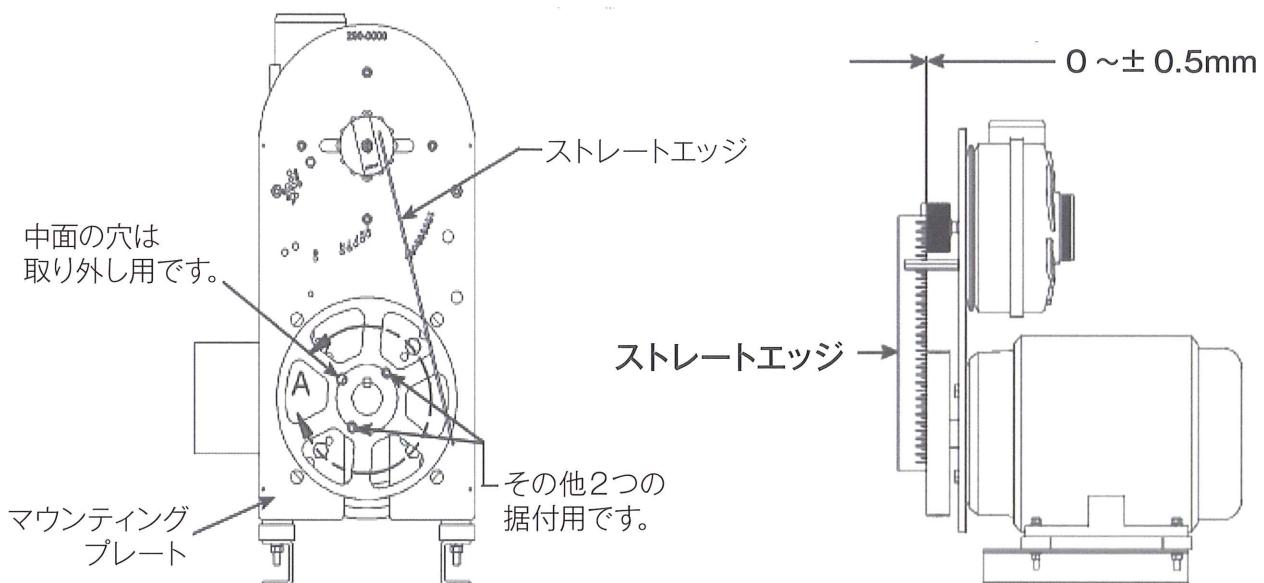
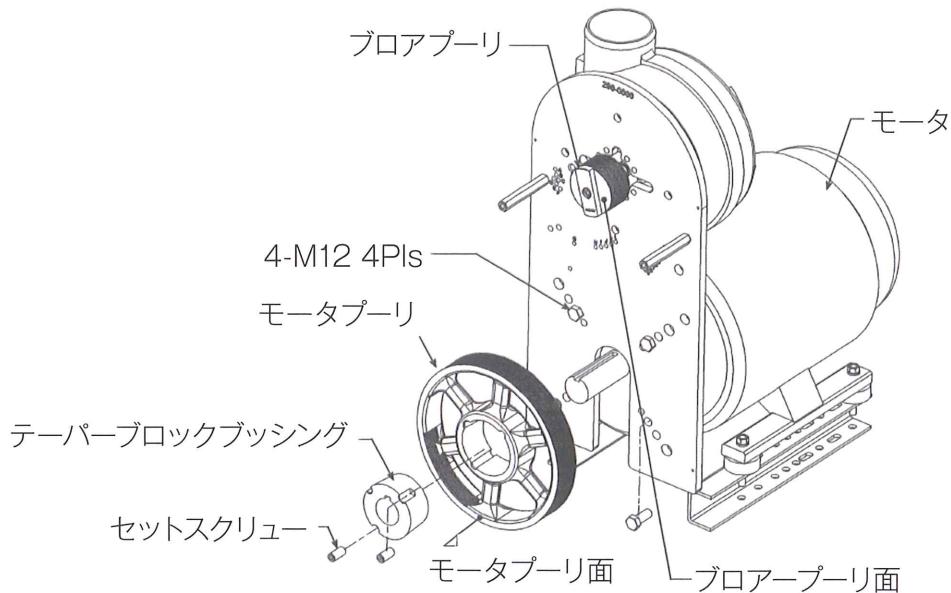
モータブーリ



REPUBLIC
Blower Systems

モータブーリについて

- 新たなモータブーリに取り替えたり、今あるユニットで作業する際に、モータブーリ、プロアブーリの外部の溝に損傷または、打痕がないかを確認してください。
- 損傷したブーリの溝は、ベルトの破損を早めたり、通常レベル以上の振動を生む原因となります。
- モータブーリ取付けの際は、トルクレンチを必ず用いてください。
- セットスクリューを48.80N·mまたは4.95kgf·m回転させてください。
- 正しいアライメントを保つため、セットスクリューは均等に締め付けて下さい。

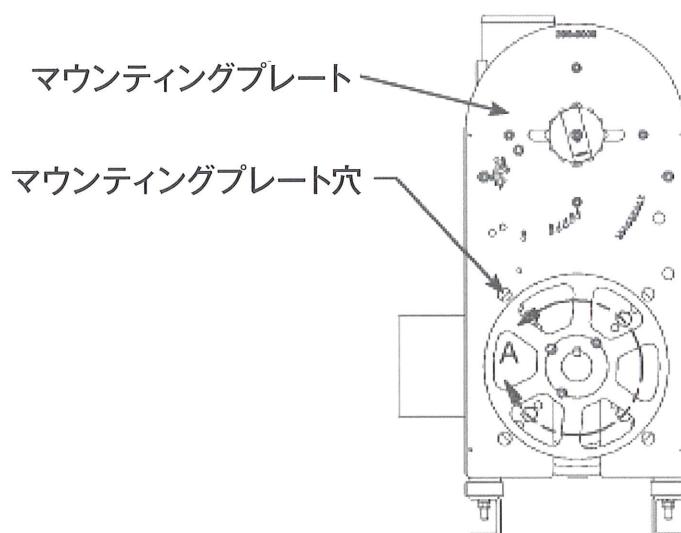
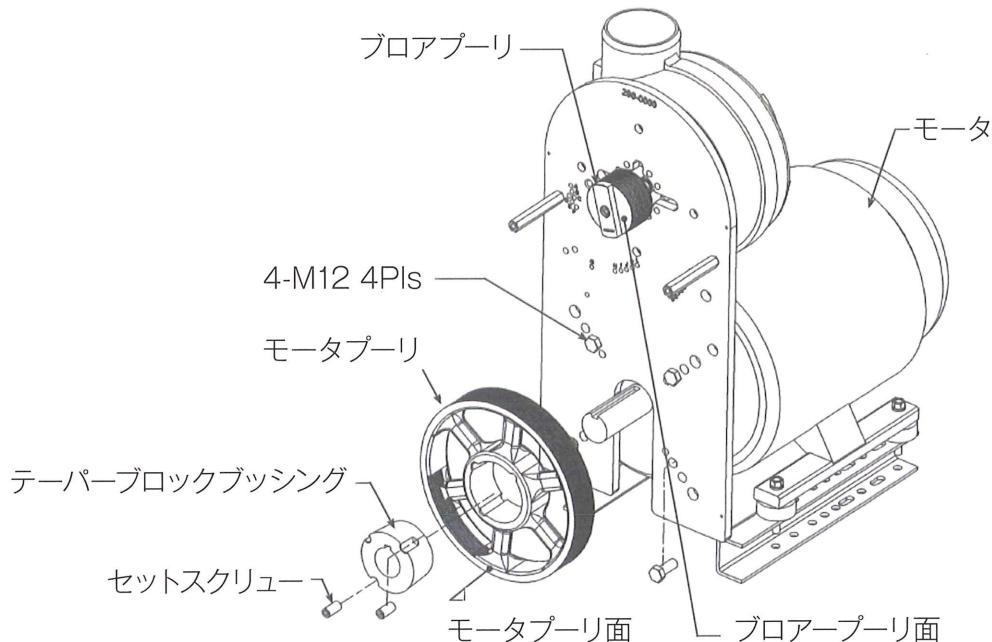


モータブリ取付けの手順:

1. セットスクリューとともにブッシングをモータブリに入れ、モータブリアセンブリをモータシャフトにいれてください。
2. モータブリ面とプロアブリ面を一直線にするために、ストレートエッジを用いてください。
通り面は0インチから±1/32インチの誤差でなくてはなりません。
3. セットスクリューを締める際、モータブリの回転を防ぐためにモータブリと、マウンティングプレートの穴のひとつを通して、ネジを入れなければなりません。
4. トルクレンチを用い回転を36ft-lbsに設定し、次にセットスクリューを同値に設定してください。

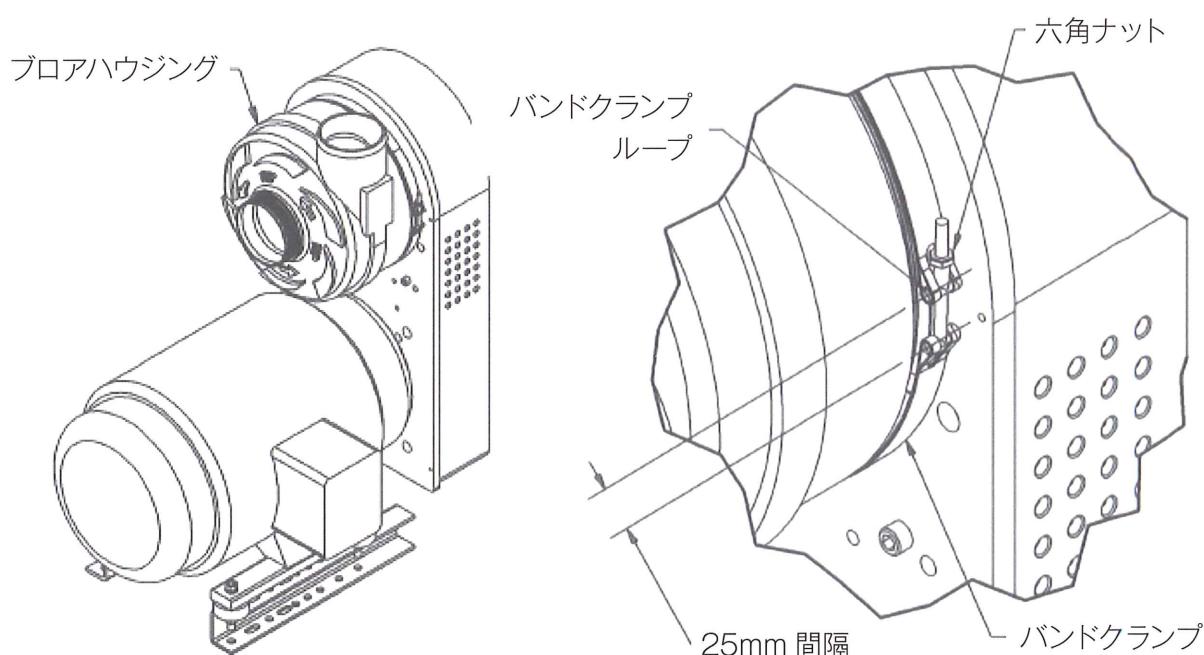
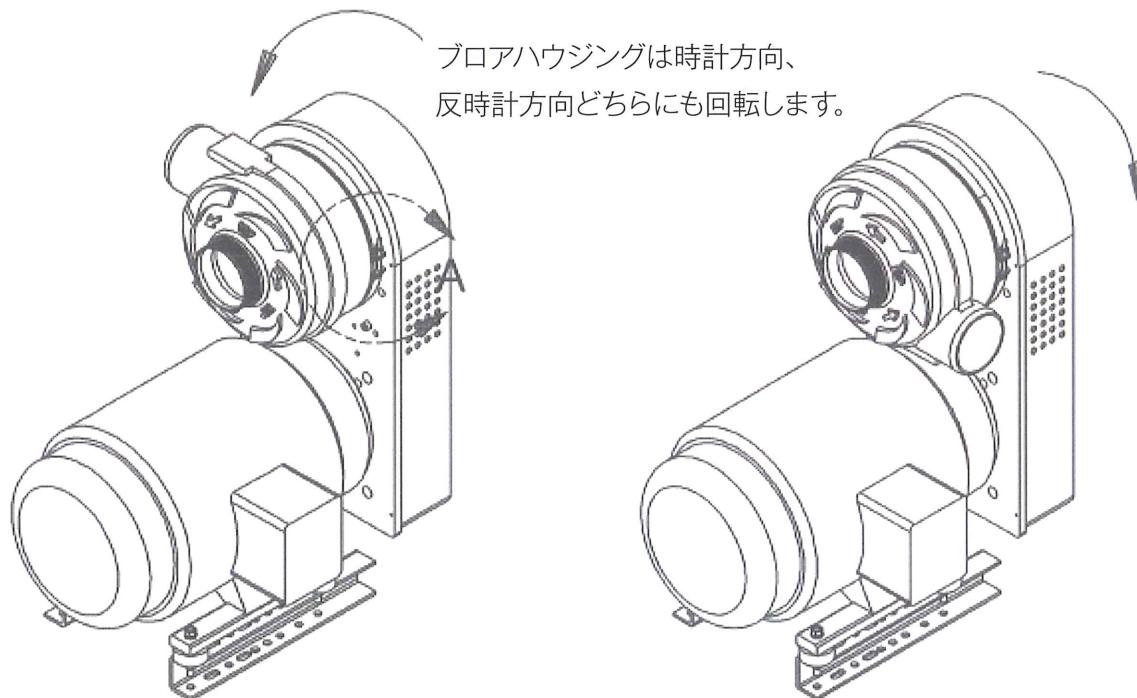


REPUBLIC
Blower Systems



モータプーリ取り外しの手順:

1. モータプーリの穴とマウンティングプレートの穴をあわせ、スクリュードライバーを通して、モータプーリの回転を制止してください。
2. 1/4インチアレンレンチを用い、2本のセットスクリューをモータプーリとブッシングから取り外してください。
3. ブッシングの上の“ミドルホール”に、取り外したセットスクリューの1本を入れてください。
4. モータプーリが回転しないようにしたままで、モータプーリがブッシングから分離するまで“ミドルホール”的セットスクリューを締めてください。
5. モータプーリが緩くなったら、モータシャフトからスライドさせて外してください。
6. モータプーリを落として、溝に損傷を与えないように注意してください。



詳細図 A

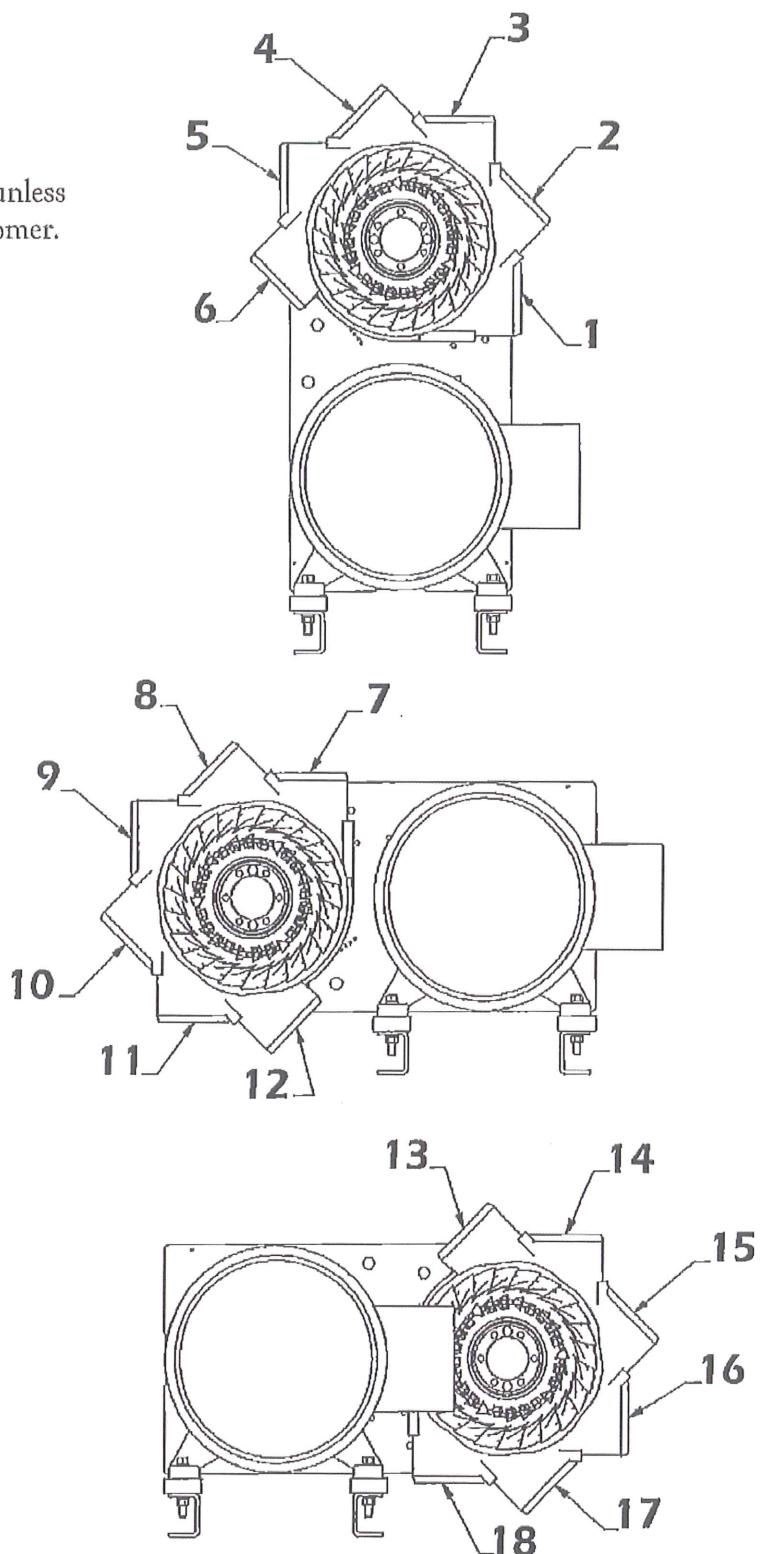
プロアハウジング回転の手順:

1. 3/8インチドライバーを用い、クランプバンドの六角ナットを弛めてください。
2. プロアハウジングをお好みの場所まで回転させ、バンドクランプループが1インチ間隔になるまで、六角ナットを締めてください。



REPUBLIC
Blower Systems

Position No. 5 is standard unless otherwise specified by customer.



Mounting Plate Position	MTPLPOS
-------------------------	---------

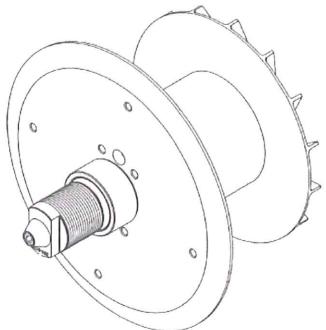
RBS 44



REPUBLIC
Blower Systems

プロアーハウジングアセンブリー交換手順

ベアリングハウジングアセンブリー w/インペラー

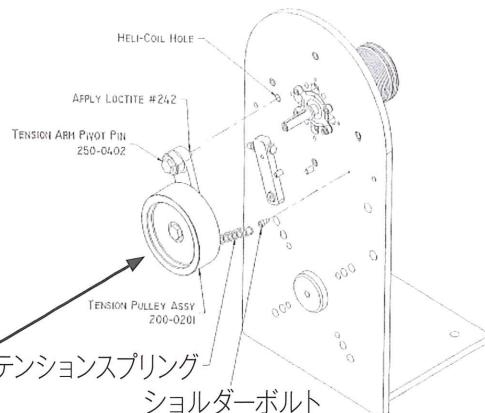


①ベルトを外します（ドライブベルト交換手順頁参照）

②テンションプーリー アセンブリーを外します。

テンションスプリングをショルダーボルトからフリーにし、テンションアームピボットピンを外します。

※テンションアームピボットピンはネジの締め付け回転方向が逆なのです。

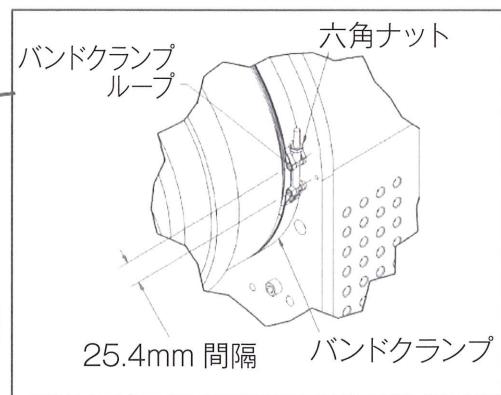
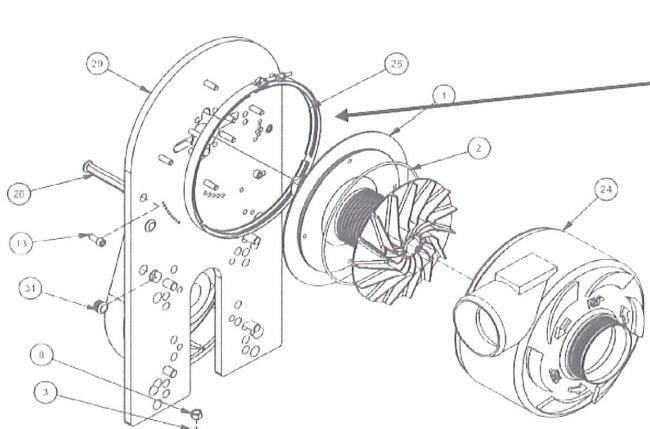


テンションプーリーアセンブリー

③プロアーハウジング 26を取り外します。

ハウジングを固定しているバンドを緩めます。

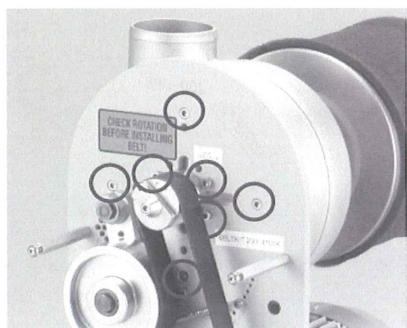
※ 3/8 六角ナット使用





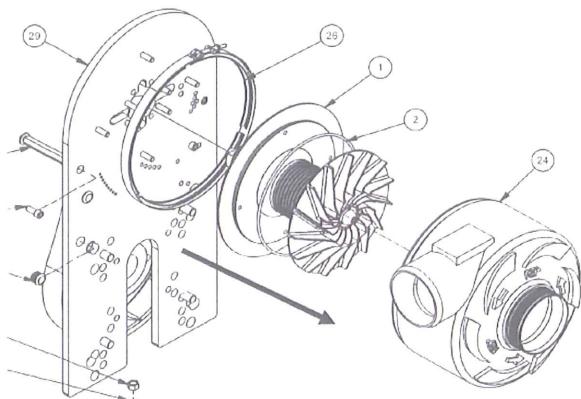
REPUBLIC
Blower Systems

- ④ベアリングハウジングアセンブリー w/インペラーをマウンティングプレートに固定しているボルト(下記写真○参照)を外します。



※ 5/16 キャップスクリュー 8ヶ使用

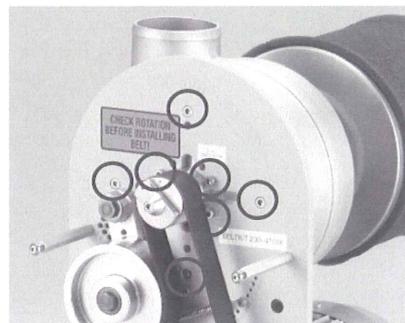
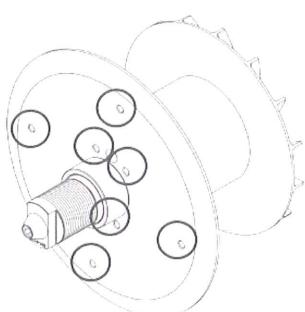
- ⑤ベアリングハウジングアセンブリー w/インペラーを矢印の方向へ取り外し新規ベアリングハウジングアッセンブリー w/インペラーを取り付けます。



- ⑥マウンティングプレートとベアリングハウジングアセンブリー w/インペラーのねじ穴を併せてに③で外したボルトにて固定します。

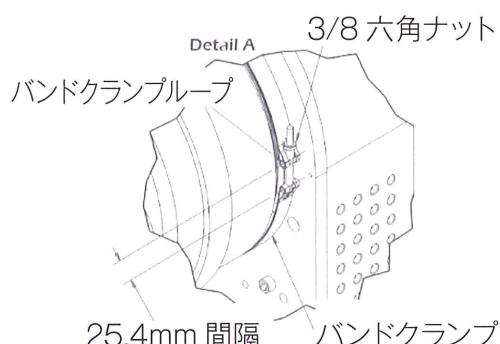
ベアリングハウジングアセンブリー w/インペラー (○部)

マウンティングプレート (○部)



- ⑦③で外したプロアーハウジングを取り付けます。

※ナットはハンドクランプループの間隔が約 25mm になるまで締め付けてください。





⑧②で外したテンション プーリー アセンブリーを取り付けます。

⑨①で外したベルトを外します（ドライブベルト交換手順頁参照）

ベルト取り付け後は手回しで時計・反時計回転させベルトずれがないことを確認する。

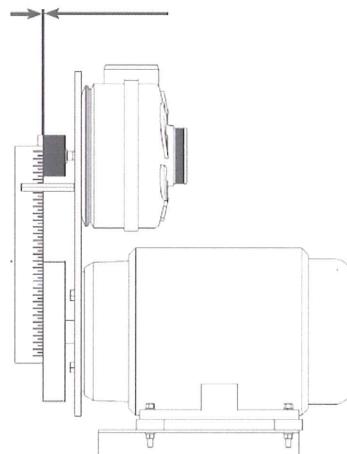
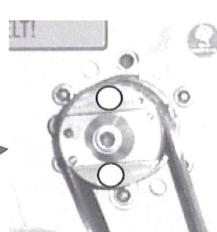
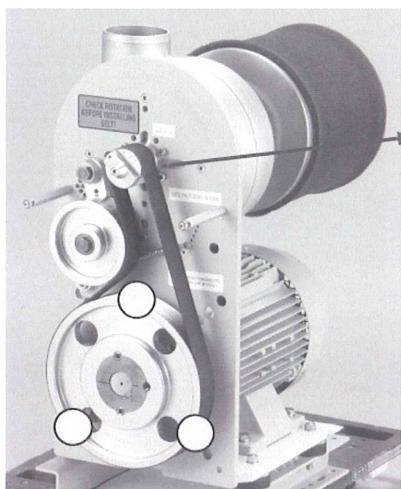
⑩プロアープーリーとモータープーリー平行度の測定

まずマウンティングプレートとプロアープーリー2点(下記写真○)、マウンティングプレートとモータープーリー3点(下記写真○)の高さを測定します。

マウンティングプレートとプロアープーリー、マウンティングプレートとモータープーリー3点(下記写真○)の高さが0.5mm以内になるようにモータープーリーを調整する。

例:	プロアープーリー高さ	① 59.3mm ② 59.4mm	プロアープーリー高さ 59.3 + 59.4/2 = 59.35mm を基準値と してモータープーリー高さ3点 が0.5mm以内に収まっている
	モータープーリー高さ	① 59.57mm ② 59.19mm ③ 59.52mm	

0.5mm以内に調整する



測定例

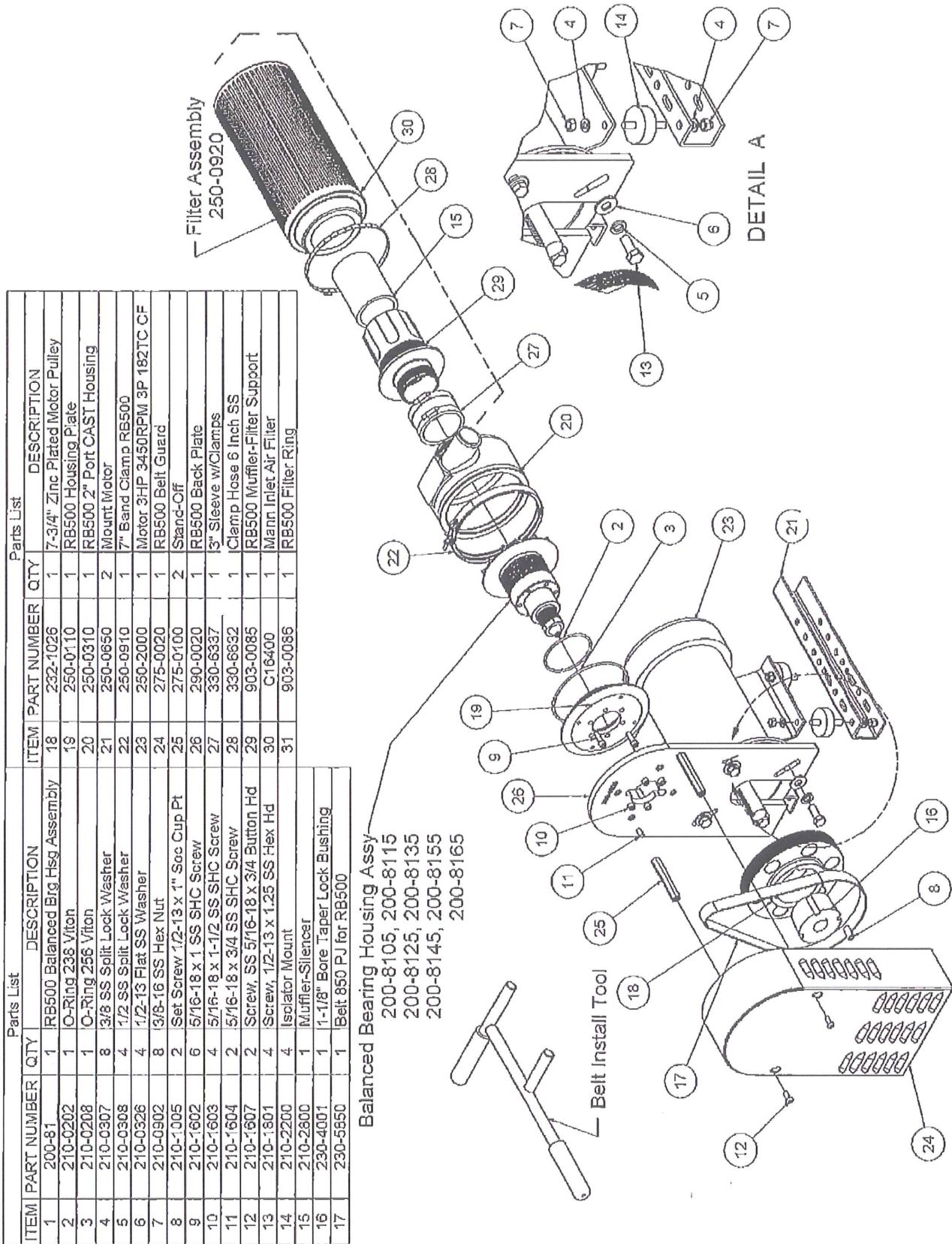


REPUBLIC
Blower Systems

エアーフィルター図解



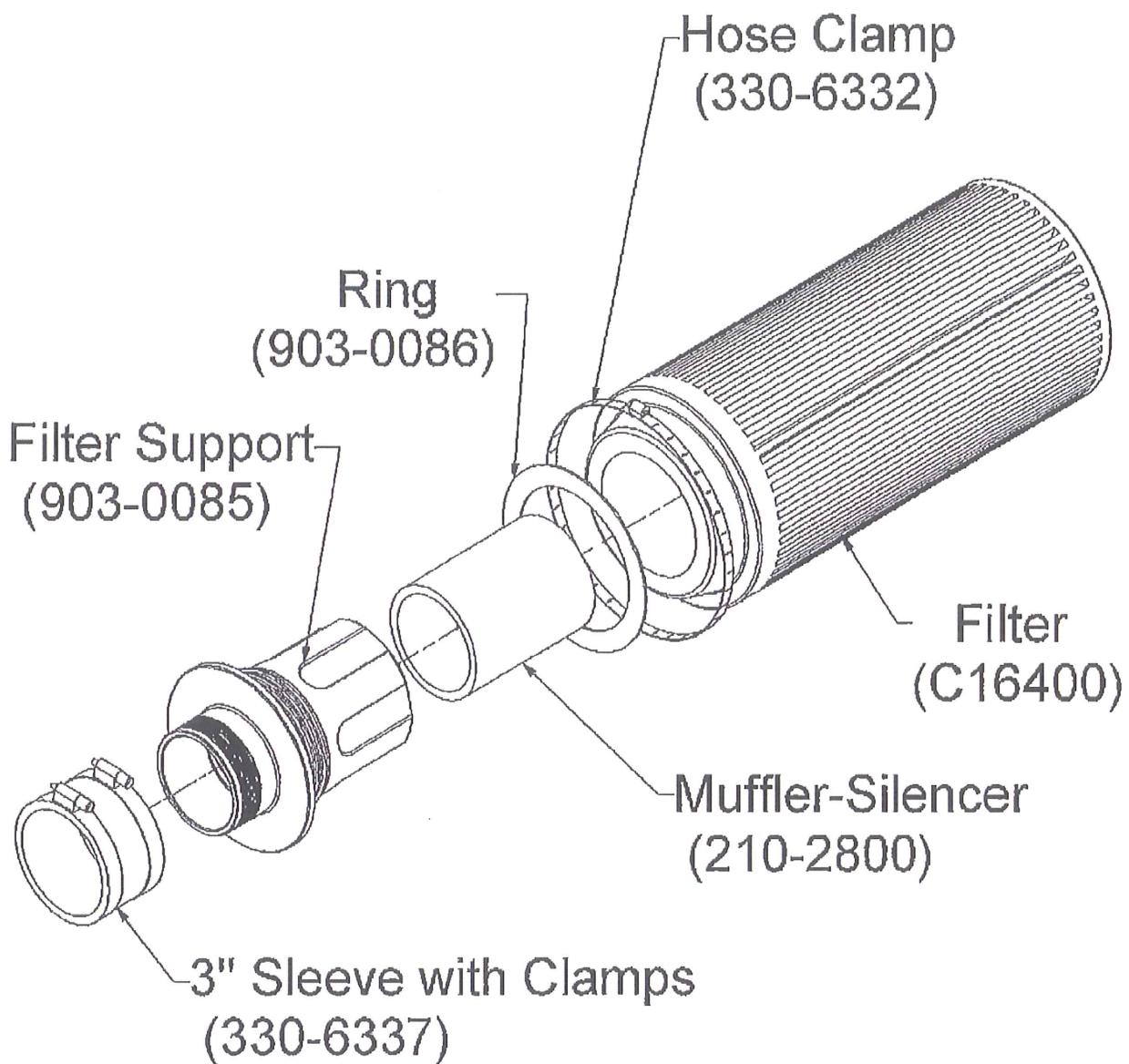
REPUBLIC
Blower Systems



RB500 Blower Assy. w/3HP Motor | 200-5003



REPUBLIC
Blower Systems

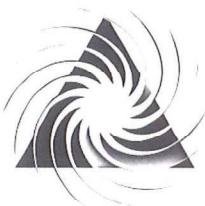


RB500 Filter Assembly

250-0920

リパブリック ブロワーシステム エアナイフ装置 ガイドライン

1. ブロワーがマニュアル／トラブルシューティングに従って正確に作動しているか、ブロワーの回転方向が正しいかを確認する。
2. ブロワーは乾燥システムより 25 フィート (7.6 メートル) 以内に設置する。伸縮性のあるホースでは圧力に無駄が生じる為、硬い管を用いるのがよい。伸縮性のホースに生じるヒビ、穴は稼働率の低下、モーターに過度の電流が流れる原因となるエア・リーク（空気の漏れ）を引き起こす。
3. ブロワーは外部振動を受けない場所に設置する。
4. エアナイフは出来る限りワークの近くに設置する。この場合、コンベヤーのレールを切り取る場合が出てくる。エアナイフとワークの間隔は 1/4 ~ 1/2 が望ましい。
5. エアナイフ台、支えになる部分がコンベヤーの枠組みにしっかりと取付けられているかを確認する。枠組みが正確な位置で配置されていないと、高速風が支え部分に歪み（偏差）を生じさせる。この歪みがさらに乾燥させようとしているワークに当たる風の角度、距離を狂わせる原因となる。
6. 誘導レールは、塞がれていないエアフローによってワークが乾燥されるように切斷する。
7. フィルターの構成部分は、常に不純物の付いていない状態に保つこと。不純物によりブロワーの寿命を短くする原因となる。
8. リパブリックもしくは専門の業者に相談なくエアナイフの隙間を調整しないこと。フロー（流量）の増加はモーターの電流の漏れ、さらに故障へと繋がる原因となる。
9. ブロワーの寿命を大きく減少させることに繋がる為、ブロワーの上でエアナイフが水・液体のしぶきを飛ばさないように確認する。



R E P U B L I C
Blower Systems

お問い合わせ先：営業部

日本総代理店：ディ・アイ・エンジニアリング株式会社
東京都墨田区錦糸 1-2-1 アルカセントラル 5階
TEL : 03-3625-1501/FAX : 03-3625-1770
URL : www.diec.co.jp

